

産業建設常任委員会審査日程

日 時 平成30年9月10日（月）
産業建設分科会終了後
場 所 第2委員会室

審査内容

- 1 陳情・要望について
- 2 閉会中の継続調査事項について

平成30年第3回（9月）山陽小野田市議会定例会

陳情・要望書配布表

受 理 年 月 日	件 名	要望の主旨	要 望 者 の 住 所 及 び 氏 名	調 査 委 員 会
平成30年 7月31日	「生涯現役社会」を実現する シルバー人材センターの決 意と支援の要望	別添陳情・要望 書写しのとおり	公益社団法人全国シルバー人材セン ター事業協会 公益社団法人山陽小野田市シルバー 人材センター	産業建設常任委員会

議長が受理した陳情・要望書の写しを配布します。

山陽小野田市議会議長

小野 泰 様

「生涯現役社会」を実現する

シルバー人材センターの決意と支援の要望

我が国においては、少子高齢化が進み人口が減少している中で成長力を確保していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。

このような中で、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現を果たす役割を担っており、併せて、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を實行し、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しているところであります。

昨年三月に働き方改革実現会議が決定した「働き方改革実行計画」においても、「健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会を提供する」とされており、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

こうした中、シルバー人材センター事業の発展・拡充は、国の施策の実現や地域社会の期待に応えるために喫緊の課題であります。このため、平成三十年度から平成三十六年度までの七年間を期間とする「第二次会員百萬人達成計画」を策定したところであり、これに基づき、平成三十二年度までに八十万人、そして、平成三十六年度には、会員百万人を目指して、会員増加の取組みを一段と強めて参ります。

さらには、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、国及び地方自治体の施策、地域ニーズに対応し、

- ① 介護保険制度改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業などの要支援高齢者に対する事業
- ② 子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業
- ③ 人手不足の地元企業に向けたシルバー派遣等の事業
- ④ 空き家管理、遊休地を活用した農園事業などの事業

また、労働者派遣又は職業紹介での働き方において、都道府県知事が指定する業種・職種について週四十時間まで就業が可能となった特例措置を有効的に活用し、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するとともに、適正就業ガイドラインを遵守し、地域社会の維持・発展と就業意欲の高い高齢者の受け皿としての役割を果たして参ります。

つきましては、平成三十一年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計を財源とする補助金の確保、また、都道府県・市区町村においては国の補助金と同額以上の補助金の確保、さらには、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

また、シルバー人材センターの多くは、事業規模が小さく財政的には不安定であり、経済変動などによりたちまち財政難に陥る危機を孕んでいます。公益法人が事業を継続的・安定的に運営できるよう、「特定費用準備資金」について、剰余金を赤字年度及び災害等、将来の収支変動に備えた資金や運転資金として積み立てることを可能とする見直しを、強く要望いたします。

平成 三十年 七月 三十一日

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
平成 三十 年度 定 時 総 会

公益社団法人山陽小野田市シルバー人材センター



公益社団法人	全国シルバー人材センター事業協会	会長	前田龍一
公益社団法人	北海道シルバー人材センター連合会	会長	前田龍一
公益社団法人	青森県シルバー人材センター連合会	会長	波岸正
公益社団法人	岩手県シルバー人材センター連合会	会長	佐々木明敏
公益社団法人	宮城県シルバー人材センター連合会	会長	谷口秀樹
公益社団法人	秋田県シルバー人材センター連合会	会長	小野忠儀
公益社団法人	山形県シルバー人材センター連合会	会長	片倉良一
公益社団法人	福島県シルバー人材センター連合会	会長	市川國雄
公益社団法人	茨城県シルバー人材センター連合会	会長	綿抜剛
公益財団法人	栃木県シルバー人材センター連合会	理事長	和田裕二
公益財団法人	群馬県長寿社会づくり財団	理事長	宮下智満
公益財団法人	いきいき埼玉	理事長	岡崎守
公益社団法人	千葉県シルバー人材センター連合会	会長	下村精哉
公益財団法人	東京しごと財団	理事長	笹沼正一
公益社団法人	神奈川県シルバー人材センター連合会	理事長	浦川秀登
公益社団法人	山梨県シルバー人材センター連合会	会長	角田義一
公益社団法人	新潟県シルバー人材センター連合会	会長	若林孝一
公益社団法人	富山県シルバー人材センター連合会	会長	釣谷祐一
公益社団法人	石川県シルバー人材センター連合会	会長	須野原雄
公益社団法人	福井県シルバー人材センター連合会	会長	高山浩充
公益社団法人	長野県シルバー人材センター連合会	会長	酒井登
公益社団法人	岐阜県シルバー人材センター連合会	会長	浅野壽
公益社団法人	静岡県シルバー人材センター連合会	会長	勝又武利
公益社団法人	愛知県シルバー人材センター連合会	会長	近藤守彦
公益社団法人	三重県シルバー人材センター連合会	会長	奥野里路
公益社団法人	滋賀県シルバー人材センター連合会	会長	平田正男
公益社団法人	京都府シルバー人材センター連合会	会長	石黒善治
公益社団法人	大阪府シルバー人材センター協議会	会長	植田武彦
公益社団法人	兵庫県シルバー人材センター協議会	会長	中嶋千萬城
公益社団法人	奈良県シルバー人材センター協議会	会長	松下幹男
公益社団法人	和歌山県シルバー人材センター連合会	会長	中田元成
公益社団法人	鳥取県シルバー人材センター連合会	会長	山脇誠
公益社団法人	島根県シルバー人材センター連合会	会長	安達紘二
公益社団法人	岡山県シルバー人材センター連合会	会長	川野豊
公益社団法人	広島県シルバー人材センター連合会	会長	山崎昌弘
公益社団法人	山口県シルバー人材センター連合会	会長	大田良充
公益社団法人	徳島県シルバー人材センター連合会	会長	森本勝
公益社団法人	香川県シルバー人材センター連合会	会長	鶴川舜一
公益社団法人	愛媛県シルバー人材センター連合会	理事長	佐伯要
公益社団法人	高知県シルバー人材センター連合会	会長	長崎豊彦
公益社団法人	福岡県シルバー人材センター連合会	会長	井形陽一
公益社団法人	佐賀県シルバー人材センター連合会	会長	山口雅久
公益社団法人	長崎県シルバー人材センター連合会	会長	中嶋隆範
公益社団法人	熊本県シルバー人材センター連合会	会長	西島喜義
公益社団法人	大分県シルバー人材センター連合会	会長	右田芳明
公益社団法人	宮崎県シルバー人材センター連合会	会長	川口喜博
公益社団法人	鹿児島県シルバー人材センター連合会	会長	藤山幸一
公益社団法人	沖縄県シルバー人材センター連合会	会長	翁長盛正

閉会中の継続調査事項について

委員会名	調査事項	調査期間
産業建設 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業及び工業に関すること ・ 企業立地に関すること ・ 労政に関すること ・ 公共交通に関すること ・ 農業、林業、畜産業及び水産業に関すること ・ 地方卸売市場に関すること ・ 小型自動車競走事業に関すること ・ 道路及び橋梁<small>りょう</small>に関すること ・ 河川及び港湾に関すること ・ 都市計画に関すること ・ 駐車場事業に関すること ・ 都市開発に関すること ・ 公園及び緑地に関すること ・ 下水道及び農業集落排水に関すること ・ 建築及び住宅に関すること ・ 水道事業に関すること 	平成30年12月 定例会前日まで継 続して閉会中調査 する